

新治中部地区

新治中部地区別計画推進策定委員会

地域 台村町、森の台、寺山町、中山町、上山1～3丁目

明治41年横浜線開通と同時に中山駅が開業し、駅周辺に市街地が形成されました。現在も中山駅を中心に緑区総合庁舎や警察署などの行政機関、福祉保健施設があり、駅前には商店街などの商業施設があります。また、横浜市営地下鉄グリーンラインが平成20年3月開通しました。

一方、南側には県立四季の森公園や長坂谷公園があり、緑豊かな環境となっています。

<主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）

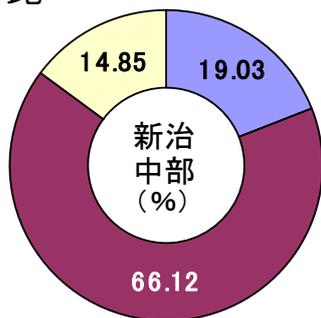
震災時避難場所（地域防災拠点）：上山小学校、中山小学校、中山中学校、森の台小学校

地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ

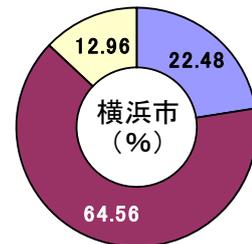
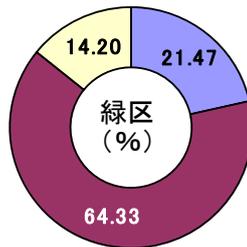
<年齢区分別人口>

平成26年(2014年)9月末

人口比



■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15～64歳) □年少人口比率(0～14歳)

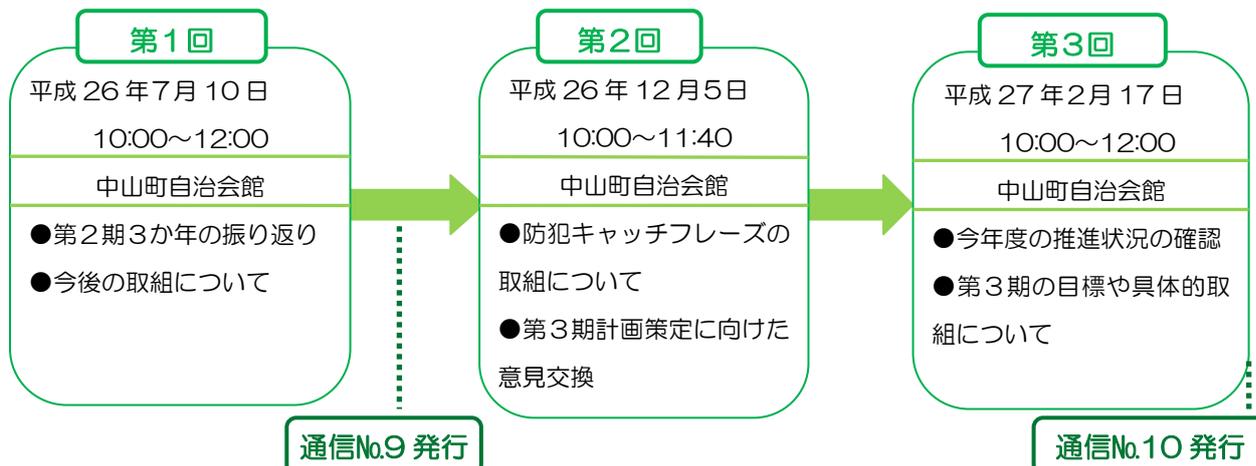


75歳～	2,800人
65～74歳	3,494人
15～64歳	21,864人
6～14歳	2,979人
0～5歳	1,931人
合計	33,068人

75歳～	16,899人
65～74歳	21,462人
15～64歳	114,942人
6～14歳	15,723人
0～5歳	9,654人
合計	178,680人

75歳～	381,069人
65～74歳	455,152人
15～64歳	2,401,961人
6～14歳	293,856人
0～5歳	188,228人
合計	3,720,266人

地区別計画推進策定委員会の開催



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成26年度地区別計画推進状況



新治中部地区

台村町、森の台、寺山町、中山町、上山の5つの町で構成



みんなで力を合わせて
次世代につながる地域づくりを!

新治中部地区では、**2つの行動目標**を掲げ、取組を進めています。

平成26年度の主な取り組み



防犯の意識を高めるとともに次世代に向けた人材育成を目指し、地区内の小・中学校を対象とした「防犯キャッチフレーズ」募集を今年度も実施しました。選ばれた優秀作品は、地域内の掲示板などに貼り出します。

防犯キャッチフレーズ 最優秀賞

小学生の部

犯罪を 街から追い出す みどりのわ

帰ろうよ ふるさとの歌 聞こえたら

あいさつは みんなを守る 救いの手

中学生の部

その電話 本当に信じて いいですか?



(写真:「第2回地区別計画推進策定委員会」の様子)

次期計画の策定に取り組んでいます!

平成28年度から始まる「みどりのわ・ささえ愛プラン」第3期計画の地区別計画策定に向けて、地区別計画推進策定委員会では、意見交換やアイデア出しを行ない、地域の課題解決を目指した次期計画の素案作成に取り組んでいます。

新治中部地区別計画推進策定委員会は下記の各団体等の代表者で構成しています。

- 連合自治会 ● 各自治会 ● 地区社会福祉協議会 ● 民生委員・児童委員 ● 主任児童委員
- 保健活動推進員 ● 老人会 ● 中山食事会 ● 中山中学校 ● 上山小学校 ● 中山小学校
- 森の台小学校 ※順不同



新治中部地区別計画推進策定委員会



新治中部地区別計画推進策定委員会
平成26年9月発行 No.9

新治中部 地区別計画推進策定委員会通信

新治中部地区は、台村町、森の台、寺山町、中山町、上山の5つの町で構成されています。

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の「新治中部地区別計画」とは



▲岩間委員長

「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは、緑区地域福祉保健計画の愛称です。誰もが身近な地域で安心して暮らせるまちをつくるために地域の福祉保健に関する課題を、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所等が協働で解決するプランです。

「新治中部地区別計画」とは、新治中部地区の方々が日々の暮らしの中で身近な地域で起きている生活課題の解決に向けて取り組む計画です。

新治中部地区別計画推進策定委員会とは

新治中部地区の自治会、福祉保健団体、学校などの代表約30名が、「みどりのわ・ささえ愛プラン新治中部地区別計画」（平成23年度～平成27年度）の推進に向け、各地域等の現況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行う委員会です。

※ 今年度は、第2期緑区地域福祉保健計画の推進に加えて、第3期計画策定に取り組むため、推進策定委員会に名称が変わりました。



▲ 委員会の様子

平成26年7月10日（木）に中山町自治会館において、平成26年度第1回「みどりのわ・ささえ愛プラン新治中部地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

第1回 新治中部 地区別計画推進策定委員会



開催当日、「昨年度までの取組の振り返り（3か年のまとめ）」「今後の取組について」「第3期計画の策定に向けて」などについて話し合いました。3か年の振り返りについては、岩間委員長が社会福祉大会で使用したパワーポイントの資料を活用しながら、各委員に説明をされました。

委員会では、活発な意見交換が行われ、今年度の方向性が示されました。

新治中部地区 地区別計画推進
平成23年度の取り組み
＜平成23年3月11日東日本大震災発生＞
「防災」…特に発災時対応への意見が！
●拠点間の連携が重要
4つの地域防災拠点の関係者が集まり、「防災拠点連絡会」を開催

新治中部地区 地区別計画推進
平成24年度の取り組み
＜防災・防災に強い、安心できるまちにしたい＞
「新治中部防災リーフレット編集会議」
●防災シート 計4冊の検討
▲編集会議メンバー
●防災マップ

新治中部地区 地区別計画推進
平成25年度の取り組み
「防犯キャッチフレーズ」の選考
●プロジェクト会議
推進委員会
●日頃のあいさつ
●地域のつながり
子どもたちの地域への愛着を知る良い機会！

防犯キャッチフレーズ

地区内の小学校5年生と中学校1年生から防犯に関するキャッチフレーズを募集。

- ◆ 大半の生徒から提出があったことと、真剣に取り組んだ結果、優秀な作品を選出することになって良かったと感じている。
- ◆ 生徒がキャッチフレーズの作成を通じて、「地域」や「つながり」に関して考える機会になったことが良かった。
- ◆ 児童にとって、自分で考えて、自分の言葉で伝えるという非常に良い機会になった。
- ◆ キャッチフレーズについては、地域の子どものみならず、親も一緒に考えられた取組だったので継続した方が良いと思う。
- ◆ この取組は、他地区からも絶賛されている。今後、他地区でも取り組みたいという声が出ている。
- ◆ 今回は、最優秀作品が2つだったが、表彰者をもっと増やしてもいいかもしれない。



防災・防犯

- ◆ 防災・防犯など、今までやってきたことを継続したほうが良い。気軽に話し合える場など、となり近所の付き合いを大切にしたい。
- ◆ 防災・防犯の取組を「次世代にどうつなげていくか」が大切なテーマ。
- ◆ 子どもの防犯では、「駆け込み所」や、それらに付随した看板があるだけで抑止力がある。今後、これらを広めるためには、どのようなことをしたら良いかなど協議しながら進めていきたい。
- ◆ 今まで培ってきたことを継続しながら、「防災」「防犯」「健康」「地域との連携」によって、安全・安心なまちづくりを進めていきたい。



次世代につなげる・その他の御意見

- ◆ 今までの取組を次世代にどのように繋げていくかが大切なテーマ。今までの取組などを継続していきたい。
- ◆ 地域の方に何かが起こった時など、いかに情報を共有するかが重要。
- ◆ 防災・防犯の取組を「次世代にどうつなげていくか」が大切なテーマ。(再掲)
- ◆ 今まで培ってきたことを継続しながら、「防災」「防犯」「健康」「地域との連携」によって、安全・安心なまちづくりを進めていきたい。(再掲)
- ◆ 防災ささえあいカードについて、見直し・強化をしていきたい。



方向性

- ☆ 3か年を通じて行ってきた防災・防犯の取組を、今後も継続していく。
- ☆ 次世代につながるまちにしたい。
- 【具体的な取組】：「防犯キャッチフレーズ」の取組を継続する。

★次回の地区別計画推進策定委員会は12月頃に実施予定です。



<連絡先> 新治中部地区別計画推進策定委員会
事務局 緑区 福祉保健課長 TEL: 045-930-2352



新治中部地区別計画推進策定委員会
平成27年3月発行 No.10

新治中部 地区別計画推進策定委員会通信

新治中部地区は、台村町、森の台、寺山町、中山町、上山の5つの町で構成

新治中部地区別計画推進策定委員会とは

新治中部地区の自治会、福祉保健団体、学校などの代表約30名が、「みどりのわ・ささえ愛プラン新治中部地区別計画」（平成23年度～平成27年度）の推進に向け、各地域等の現況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行う委員会です。

今年度の方針である「防犯・防災に強い、安心できるまちしたい」、「次世代につながるまちにしたい」を充実させるため、平成27年度「みどりのわ・ささえ愛プラン 新治中部地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

防犯キャッチフレーズ決定!



昨年度に引き続き、防犯の意識を高めるため、「防犯キャッチフレーズ」を地区内3つの小学校の5年生、中山中学校1年生を対象として、12月末から1月初旬までの間、募集を行いました。

作品総数は、374作品となり、「あいさつの大切さ」「防犯意識の重要性」など素晴らしい作品が多く選考は難航しましたが、28作品が選考されました。

最優秀作品は、新治中部地区内の掲示板に貼り出す予定です。

▼最優秀作品を掲載したポスター



最 優 秀 賞

【小学生の部】

<中山小学校>

「帰ろうよ ふるさとの歌 聞こえたら」 (藤田 弘宗さんの作品)

<上山小学校>

「犯罪を 街から追い出す みどりのわ」 (高木 盛智さんの作品)

<森の台小学校>

「あいさつは みんなを守る 救いの手」 (眞鍋 知輝さんの作品)

【中学生の部】

<中山中学校>

「その電話 本当に信じて いいですか?」 (八下田 修平さんの作品)

優 秀 賞

【小学生の部】

＜中山小学校＞5作品

「思いやり 平和な街の 合言葉」
 「助け合い みんなで守ろう 我が街を」
 「はぐくもう まさかのときも 地域の輪」

「安心は 皆の勇気と 多くの目」
 「犯罪を みんなで防ぐ 地域の輪」

＜上山小学校＞3作品

「守ろうよ みんなの力で この街を」
 「安心で 仲良くできる 街にしよう」

「警戒心 どこへ行くにも 持ち歩こう」

＜森の台小学校＞8作品

「気をつけて オレオレ詐欺は 電話から」
 「お互いに 持てたらいいいね 優しさを」
 「広げよう 安心安全 街づくり」
 「あいさつは 犯罪防ぐ あい言葉」

「もういいかい カギかけるまでは まあだだよ」
 「あいさつは 鍵より強い 防犯対策」
 「あいさつは 元気に笑顔で 自分から」
 「守ろうよ みんなで防犯 地域のわ」

【中学生の部】

＜中山中学校＞8作品

「この街を みんなでまもろう あいさつで」
 「支え合い 笑顔を増やす 第一歩」
 「よく見てね あなたのうしろに 黒いかげ」
 「意識変え 犯罪減れば まち変わり」

「自分の身 自分で守って 強くなれ」
 「地域が目 防犯カメラより するどいぞ！！」
 「この街を みんなの笑顔で 明るくね」
 「気をつけて それはあなたの 息子じゃない」

今 年 度 の 活 動

第2回新治中部地区別計画推進策定委員会

第2回の推進策定委員会が12月5日に開催され、「防犯キャッチフレーズの募集」「これまでの取組の振り返り」「第3期地区別計画」等について、話し合いました。

第3期地区別計画に向けた話し合いでは、グループワークを実施し、「各地域で高齢化が進んでいる」「隣人のつながりが希薄化」「防犯キャッチフレーズなど学校と連携できる取組は良い」など積極的な意見がありました。

第2回委員会でのグループワークの様子



防犯キャッチフレーズ検討委員会

昨年度に引き続き、防犯キャッチフレーズを小学生：5年生、中学生：1年生から募集を行い、防犯キャッチフレーズ検討委員会が1月20日、2月5日の2回開催されました。

応募総数374作品から、最優秀賞：4作品（小学生の部3作品、中学生の部1作品）、優秀賞：24作品が選考され、最優秀賞の受賞作品は、新治中部地区の掲示板等に掲示される予定です。

第3回新治中部地区別計画推進策定委員会

第3回の推進策定委員会が2月17日に開催され、「防犯キャッチフレーズの選考結果」「第3期地区別計画策定に向けて」について話し合いました。

防犯キャッチフレーズについては、検討委員会の選考報告がされ了承されました。

「第3期地区別計画策定に向けて」では、第3期地区別計画の素案が示されました。目標である「防犯・防災に強い、安心できるまち」「次世代につながるまち」の取組について、話し合いが行われ、地域防災拠点間の連携や4拠点間の情報共有など、活発な意見がありました。



＜連絡先＞ 新治中部地区別計画推進策定委員会
 事務局 緑区 福祉保健課長 TEL：045-930-2352